

# 令和7年度 事業報告

## 第1 事業

令和7年度の経済状況は、賃上げ率が2年連続で5%を上回るなど、「デフレ・コストカット型経済」から、その先にある新たな「成長型経済」に移行する段階まで来た。景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心に見られるものの、緩やかに回復している。しかし、潜在成長力は伸び悩み、賃金の伸びは物価上昇に追いつかず、食料品を中心とした物価上昇により、個人消費は力強さを欠いている。タクシー事業においても燃料価格の高騰や人手不足等の影響により、需要の回復は鈍く、引き続き厳しい経営状況にある。

こうした中、山口県では、本年3月に運賃改定を実施し、乗務員の労働条件及び経営状況の改善を図った。また、タクシー事業の維持・継続の負担軽減のため、山口県に対し、人材確保に対応する第二種免許取得に要する費用負担の支援要望をするとともに、山口地方最低賃金審査会に対し、最低賃金の慎重審議を求める要望を行ったところである。会員事業者においては、コロナ禍で加速した乗務員不足により、深刻な人手不足に直面する中、国民の安定的な生活の確保や社会の安定維持の観点から、日夜必死に事業を継続しつつ、公共交通機関の一翼を担っているところである。

「ライドシェア」と称する白タク行為の解禁を図る動きについては、日本維新の会により「ライドシェア事業に係る制度の導入に関する法律案」が提出され、さらに同党が内閣総理大臣に提出した「新たな『総合経済対策』の策定に向けた提言」においても、本格解禁に向けた段階的な規制緩和の方針が示されており、予断を許さない状況にあることから、自由民主党山口県支部連合会に対し、「ライドシェア新法制定の断固阻止」に関する要望書を提出した。

また、魅力あるタクシー事業の実現向け、自動車運送事業者向け「働きやすい職場認証制度」の取得に関する情報の周知を図るとともに、公共交通事業者にとって、交通安全・事故防止は、最大の使命であるという認識のもと、交通安全運動への参加や「無事故月間」を実施するなどの取り組みを行った。

過疎地域における「乗合タクシー」の普及・促進については、交通空白地を抱える自治体にとっては重要な課題であることから、「地域公共交通会議」等に積極的に出席し、乗合タクシーの活用促進となるよう取り組みを行った。

なお、当協会において、執行部及び専門委員会を中心に取り組んだものは次のとおり。

### 【物価高騰への対応について】

- (1) 山口県公共交通燃料価格高騰対策支援補助金事業の実施

### 【ライドシェア等への対応について】

- (1) 全タク連主催の委員会等に参加し、「ライドシェア」等に関する情報把握に努めるとともに、会員事業者への情報提供を行った。
- (2) 令和7年10月に自由民主党山口県支部連合会に対して、「ライドシェア新法制定の断固阻止」に関する要望書を提出し支援要望を行った。

## 【利用促進・地域交通確保対策について】

- (1) 「タクシーの日」の取り組みとして「8月5日はタクシーの日」「安全で便利なタクシーをご利用ください」と記載したウェットティッシュ（9,000個）をタクシー利用者に配布し、利用促進を呼びかけた。
- (2) 「観光スポットお手軽タクシー」（新山口駅～秋吉台経由～萩市内）を継続実施した。また、「観光タクシープラン」のパンフレットを、山口県の大阪・東京事務所並びに山口県内の観光協会へ送付し、利用促進を図った。
- (3) 地方自治体が主宰する地域公共交通会議等に積極的に参画し、地域住民の足の確保について協議するとともに、地域公共交通としての乗合タクシーへの転換（働きかけ）や情報交換を積極的に行った。

### ○地域公共交通会議等（書面協議を含む）

名 称	開催数	名 称	開催数
岩国市地域公共交通会議	5回	防府市地域公共交通活性化協議会	5回
周防大島町地域公共交通会議	4回	山口市地域公共交通会議	3回
柳井市地域公共交通協議会	3回	宇部市公共交通協議会	4回
上関町地域公共交通会議	3回	山陽小野田市地域公共交通会議	2回
平生町地域公共交通協議会	2回	下関市地域公共交通協議会	8回
光市地域公共交通会議	4回	萩市地域公共交通会議	3回
下松市地域公共交通活性化協議会	4回	阿武町地域公共交通会議	3回
周南市地域公共交通会議	4回	長門市公共交通協議会	5回
田布施町地域公共交通協議会	2回	美祢市地域公共交通協議会	5回

- (4) ボランティア輸送への対応として、地方自治体が主宰する運営協議会に積極的に参画し、NPO等によるボランティア輸送について、道路運送法の厳格な運用を求めるとともに、タクシーによる対応の可能性を最大限追及した。

### ○運営協議会

名 称	開催数
下関市福祉有償運送運営協議会	1回

## 【交通安全・交通事故防止について】

### (1) 交通安全運動等の実施

春・秋の全国交通安全運動、夏の交通安全県民運動、年末年始の輸送等に関する安全総点検運動を実施し、各運動の重点目標を中心に取り組んだ。

#### ○春の全国交通安全運動

期 間 令和7年4月 6日（日）～4月15日（火）

10日間

○夏の交通安全県民運動

期 間 令和7年7月11日（金）～7月20日（日） 10日間

○秋の全国交通安全運動

期 間 令和7年9月21日（日）～9月30日（火） 10日間

○年末年始の交通安全県民運動

期 間 令和7年12月10日（水）～令和8年1月3日（土） 25日間

(2) 山口県タクシー無事故月間の実施

年末年始の輸送繁忙期である令和7年12月1日（月）から令和8年1月31日（土）の2か月間を山口県タクシー無事故月間と定め、交通事故防止活動を推進した。

(3) 研修・講習への参加

「運行管理者等講習」（基礎・一般）及び「整備管理者研修」（選任前・選任後）、「適性診断」、「安全マネジメント講習」等への受講・受診について、「協会だより」等により参加の呼びかけを行い受講促進に努めた。

○運行管理者等講習（基礎）

開催日	開催地	受講者数
7月15日～17日	山口市	13名
1月14日～16日	山口市	15名
計	2回	28名

○運行管理者等講習（一般）

開催日	開催地	受講者数
7月31日	柳井市	15名
8月21日	周南市	17名
9月5日	宇部市	6名
9月19日	山口市	19名
10月24日	下関市	11名
11月28日	山口市	8名
2月20日	山口市	11名
計	7回	87名

○整備管理者選任後研修

開催日	開催地	受講者数
10月14日	山口市	14名
10月27日	山口市	20名
1月13日	山口市	11名
計	3回	45名

○運行管理者試験（C B T試験・旅客）

開催期間	受験者数	合格者数	合格率
第1回（令和7年8月 2日～8月31日）	54名	18名	33.3%
第2回（令和8年2月14日～3月15日）	50名	22名	44.0%
計	104名	40名	38.5%

○自動車運転者適性診断（タクシー事業者）

	一般	初任	適齢	特定	計
本 所	31名	143名	251名	8名	433名
ナスバネット	47名	3名	81名	—	131名
計	78名	146名	332名	8名	564名

(4) FM山口の「交差点及び道路横断中の交通事故防止」「子供を交通事故から守ろう」をテーマとした「横断旗復活運動」に協賛し、設置個所や利用者が減りつつある横断旗の復活のため、「(一社)山口県タクシー協会」の名称入り横断旗を設置し、子供を交通事故から守り、安全安心の地域づくりに寄与した。

【設置本数：令和7年度 県内30本（防府、柳井地区において設置）】

【労務対策について】

(1) 山口労働局による「自動車運転者時間管理等指導員」を活用したタクシー運転手の労働時間の管理について、各事業者への訪問指導を行い、乗務員の労働時間の適正管理について指導を行った。【令和7年度訪問指導実績：8事業者】

(2) 山口県・山口運輸支局等と共催で、人手不足が深刻な公共交通の担い手確保に繋げるための「公共交通担い手確保ミニフェア」を開催し、来場者に対して、やりがいや働きやすさについてアピールした。【ミニフェア来場者13名】

(3) 公共交通への理解を深め、就業へのきっかけづくりのため、山口県央連携都市圏域、山口市公共交通委員会、宇部市公共交通協議会主催の「バス・タクシー運転士体験会&就業説明フェア」において、山口地区や宇部地区の会員事業者が協力し、体験会参加者（山口会場22名、宇部会場15名）に対し、タクシーの魅力のアピールした。

(4) 山口県内の交通団体、山口県・中国運輸局・山口労働局の行政等で組織する「バス・タクシー運転士確保対策連携協議会」の事業として、深刻化する運転士不足に対応するため、「山口県バス・タクシー合同就職説明会&バス運転体験会」を開催し、来場者29名に対し、タクシーの業務内容や働き方など説明した。

また、退職自衛官を対象とした業務説明会を開催し、参加者10名に対しタクシーの魅力のアピールした。

(5) 運転士の人材不足が深刻化しており、地域公共交通の安定的な維持・確保に支障を来す恐れが高まっているため、山口県に対し、運転士確保に向けた具体的な支援策として、第二種運転免許の取得に要する費用負担の軽減を求める要望を行った。

**【特定地域特措法等への対応について】**

- (1) 令和7年11月に山口市において、タクシー準特定地域合同協議会（下関市・宇部市・山口市・防府市・周南市・岩国交通圏）を開催し、公定幅運賃改定要請の報告と意見交換を行った。
- (2) 令和7年9月に、準特定地域における適正化及び活性化事業の取組み状況に関するフォローアップ調査を実施した。

**【タクシー運転者登録制度への対応】**

- (1) 山口県タクシー運転者登録センターにおいて、「タクシー運転者登録制度」に係る新規運転者講習を、専任講師により安全・法令・接遇教育等カリキュラムに従い実施した。
- (2) 山口県タクシー運転者登録センターにおいて、「タクシー運転者登録制度」に係る運転者証交付申請等に迅速に対応した。

○登録実績

項目	区分	7年度実績	6年度実績	増減
		件数	件数	件数
登録申請		217	204	+13
運転者証交付		341	375	-34
運転者証訂正		451	447	+4
運転者証再交付		8	19	-11
原簿謄本交付		0	0	0
原簿閲覧		1	2	-1
業務経歴証明書交付		0	0	0
乗務証交付		0	2	-2
乗務証訂正		10	11	-1
乗務証再交付		1	0	+1
登録取消		0	0	0
登録事項変更	運転免許証の有効期限等	451	447	+4
	事業者変更（会社異動）	124	171	-47
運転者証返納		398	389	+9

○講習実績

項目	7年度実績	6年度実績	増減
新規講習受講者数	215	199	+16
地理試験受験者数	7	3	+4

- (3) 諮問委員会委員に対し、登録・講習実績等の報告を行うとともに、運転者登録制度に関する意見を伺うなど、登録事務を誠実にを行った。

#### **【広報活動について】**

- (1) 交通安全運動期間中において、県民への交通安全思想の普及を図るため、ラジオ放送（FM山口、KRY山口放送）を通じ、交通事故防止を呼びかけた。
- (2) 毎月の行事、行政庁からの通達、全タク連からの指示や協会の取組み内容などタクシーを巡る状況や動きについて、毎月定期発行の「協会だより」により全会員に周知した。
- (3) 山口県周南市在住のインフルエンサー「まーちゃん（山口県を日本一にする男）」を起用して、タクシードライバーの人材確保に向けたPR動画を作成し、SNSにより魅力を発信した。

#### **【その他】**

島根原発の災害発生時における福祉タクシーによる緊急輸送に関する協定に基づく「防災業務関係者研修」については、昨年度から通年で受講可能なWEB上での動画視聴による実施となったため、会員事業者へ当該研修の周知を図った。